

# 始良市衛生協会だより

## 環境標語コンクール 394作品の応募がありました

市内小学校の5年生を対象に環境をテーマとした標語を募集しました。これは、子どもたちに環境について興味を持ってもらおうと企画したもので、夏休みの課題を兼ねて、標語づくりに取り組み、10校から394作品の応募がありました。

結果は次のとおりです。 (敬称略、順不同)

### ★最優秀賞 (ごみ減量の部)

「ごみへらそう」 心と地球の ダイエット

平松 望歩 (始良小)

### ★最優秀賞 (生活環境の部)

マイバッグ 地球にやさしい お買い物

原囿 眞子 (加治木小)

### ★優秀賞 (ごみ減量の部)

八幡 昇伍 (重富小) 横山由祈乃 (柁城小)  
池田倫太郎 (柁城小)

### ★優秀賞 (生活環境の部)

井出 現己 (西始良小) 祁答院新汰 (柁城小)  
橋口 愛菜 (蒲生小)

### ★佳作 (ごみ減量の部)

上村ももこ (帖佐小) 水口 姫佳 (始良小)  
上園 佳奈 (始良小) 福澤 亜美 (建昌小)  
迫田 李羽 (柁城小) 兒島 成海 (錦江小)  
大山 愛未 (錦江小) 美坂賢一朗 (錦江小)  
平野 史恩 (蒲生小) 青手木琴美 (漆小)

### ★佳作 (生活環境の部)

白木川拓巳 (帖佐小) 脇田 紗弥 (始良小)  
二階 理菜 (建昌小) 松下 響弥 (重富小)  
中内 夢彩 (重富小) 五反 彩香 (加治木小)  
森木 麻央 (加治木小) 石黒はるか (錦江小)



左：嘉藤健会長 中央：平松望歩さん  
右：竹迫正美校長



中央：原囿眞子さん  
右：今村伸一校長

## 生ごみ処理機で生ごみを乾燥処理。 できた堆肥の成分を調査

協会では、電気式生ごみ処理機を購入し、加治木総合支所で試験的に使用しました。使用した生ごみ処理機では投入した生ごみを乾燥処理し、7分の1程度まで減容することができました。

約1kgの生ごみを処理する時の電力使用量は、約1.2kWhで、これをお得な夜間電力料金に換算するとに約13円となります。

また、処理してできた生ごみ堆肥について、鹿児島県環境技術協会に成分等の分析を依頼しました。発行された試験成績書によると、窒素全量2.02%、リン酸0.78%、カリ2.84%となりました。



さらに、分析結果について、農政課農政コーディネーターからのアドバイスですが、市販されている尿素などでリン酸の割合を補い、時間をおいて成熟させることで、良質の肥料として使用できるそうです。

また、有機質にこだわりたい方は、尿素の代わりに鶏糞を使用することをお勧めします。

## マイバッグ運動の普及のぼり旗を作成 設置協力店を募集中

協会では、マイバッグ運動の普及啓発に寄与するためにのぼり旗を作成しています。のぼり旗のデザインには、標語コンクールで最優秀賞となった標語「マイバッグ地球にやさしいお買い物」を用いる予定です。

現在、マイバッグ運動に協力していただける店舗を募集しています。協力店には、作成したのぼり旗を贈呈し、事業所敷地内に設置していただく予定です。



## 各種環境改善活動団体が新たに 企画提案する事業への助成を開始

協会では、今年度からの新規事業として各種環境改善活動団体の事業への助成を始めました。これは、日頃から生活環境の改善や環境美化に取り組む団体等が新たに企画提案する事業活動を募り、その事業に必要な経費の一部を助成するものです。

現在、2つの団体から事業が提案され、食品ロスの削減やEM普及のための事業が展開される予定です。

補助金の申請受付及び助成は、始良市衛生協会各種環境改善活動団体事業補助金交付要綱の規定に基づいて行います。

### ○補助対象者

市内で各種環境改善の活動を行う5人以上で組織した団体で、責任を持って、事業を実行できる団体

### ○補助対象事業

市内で行う事業であり、新たに行う事業やこれまでの活動を拡充する活動。

※施設整備を目的としている事業や定例となっている事業は対象としません。

### ○補助金額

上限30万円

※衛生協会の予算の範囲内で助成します。

## ごみステーション用金属製ボックス及び ネットの購入費用の一部を助成

市民の皆さんのご家庭から排出されるごみの飛散防止及び鳥獣被害による散乱防止を図るため、地区公民館や自治会でごみステーション用金属製ボックスまたはごみステーション用ネットを購入した場合、協会が、その費用の一部を助成しています。

これは、昨年度から始めた事業で、これまで、延べ72の自治会が、55基の金属製ボックスと58枚のネットを購入し、その費用の一部を助成しています。

金属製ボックスは高額で、自治会の負担も大きいいため、購入する際は、年次的に予算を確保するなど、各自治会で工夫されているようです。

この助成事業は、来年度以降も継続する予定ですので、計画的に予算化することをお勧めします。

●金属製ボックス:費用の3分の1(上限3万円)

●ネット:費用の3分の1(上限3千円)



最近では、フタがスライド式で開閉が楽に行えるものもあるようです



## 始良・伊佐地区衛自連が蒲生支部を視察

始良・伊佐地区の衛生自治団体で組織する衛生自治団体連絡協議会の理事及び代議員、関係職員37名が蒲生地区の資源物収集について視察に訪れました。



久末地区での視察



今村昭男蒲生支部長があいさつ

まず、蒲生総合支所で資源物収集の変遷について説明があり、その後、八幡地区及び久末地区、蒲生シルバー人材センター資源物集荷所の様子をそれぞれ視察しました。

視察会場では、参加者は青色のネットや緑色のコンテナ等の分別道具の使用法に興味を持ち、熱心に説明を聞いていました。

視察後には、先進的な取り組みである衣類リサイクルに関する質問等も寄せられ、今後、近隣市町での衣類リサイクルの広まりにも期待ができそうです。

### 問合せ先 衛生協会事務局

- ◆市役所本庁 生活環境係 Tel66-3111(内線144)
- ◆加治木市民生活課 生活環境係 Tel62-2111(内線124)
- ◆蒲生市民生活課 生活環境係 Tel52-1211(内線256)